

「9条は幣原提案」新史料

マッカーサー書簡に明記

戦争放棄をうたった憲法9条のアイデアは、幣原喜重郎首相（当時）が連合軍総司令部（GHQ）最高司令官マッカーサーに提案したという学説を補強する新たな史料を、堀尾輝久・東大名誉教授が発見しました。安倍晋三首相ら改憲勢力が主張する「今の憲法は戦勝国に押し付けられたもの」とする論拠を覆す内容です。秋の臨時国会から憲法審査会で改憲論議がねられるなか、憲法の制定過程をゆがめて議論をすすめることは許されません。（深山直人）

堀尾・東大名誉教授が発見



堀尾輝久名誉教授



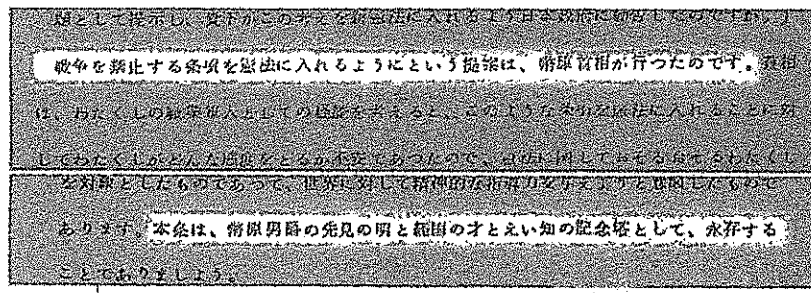
ダグラス・マッカーサー

幣原喜重郎 1872〜1951年。外相を4回務め、国際協調、軍縮路線を主張したとされます。終戦後の45年10月から首相となり、現憲法の制定にかかわりました。

9条は、1946年1月24日に幣原首相とマッカーサー最高司令官との会談が発端となったとみられています。マッカーサーは「幣原首相の提案」と米上院な

ら「信用できない」とする意見もあり、だが提案したかについては見解が分かれています。堀尾氏は、57年に当時の岸信介内閣のもとで改憲の議論を始めた憲法調査会の

「押し付け憲法」論を否定



高柳賢三会長が、憲法の制定過程を調査するため58年に渡米したことを重視しました。

堀尾氏は、国会図書館所蔵の憲法調査会関係資料を採し、今年1月、英文の書簡と調査会による和訳を見つけた。この書簡は、高柳の質問にマッカーサーが回答したものです。58年12月15日付で「戦争を禁止する条項を憲法に入れるように」という提案は、幣原首相が行ったのです」と明記。「提案に驚きましたが、高柳の質問にマッカーサーは同じような証言を米上院や回想録でもしていますが、質問に文書で明確に回答した書簡は重い意味があります」と話します。

高柳は、マッカーサーとの往復書簡を踏まえて、「わたくしは幣原首相の提案と見るのが正しいのではないかと結論に達している」と論文に書いていたが、書簡の具体的内容についてはこれまで不明でした。堀尾氏は、国会図書館所蔵の憲法調査会関係資料を採し、今年1月、英文の書簡と調査会による和訳を見つけた。この書簡は、高柳の質問にマッカーサーが回答したものです。58年12月15日付で「戦争を禁止する条項を憲法に入れるように」という提案は、幣原首相が行ったのです」と明記。「提案に驚きましたが、高柳の質問にマッカーサーは同じような証言を米上院や回想録でもしていますが、質問に文書で明確に回答した書簡は重い意味があります」と話します。

マッカーサーの回答 (訳文は憲法調査会) (2面)

幣原首相の「9条」提案

1面のつづき

幣原(しではら)首相はなぜ、戦争放棄をうたった憲法9条のアイデアをマッカーサーに提案したのでしょうか。



久松義久教授
東大名誉教授

幣原は1946年3月27日、自身の内閣がつくった「戦争調査会」の開会あいさつで、原爆よりもさらに

幣原は、秘書官だった平野三郎氏による聞き取り(51年2月)に対して「戦争をやめるには武器を持たないことが一番の保証にな

強力な破壊的新兵器も出現するであろうときに、「何百万の軍隊も何千隻の艦艇も何萬の飛行機も全然偉力を失う」このべ、「世界は早晩、戦争の惨禍に目を覚まし、結局私どもと同じ(戦争放棄の)旗

を翻(えい)して、遜る」と述べています。一方で幣原は、戦争放棄と天皇制維持をセットで提案したかったが、敗戦から間もない

状況で日本側から提案したことにいっそう確信が持てると思えます。「憲法は押し付けられたという形をとった」と説明しています。

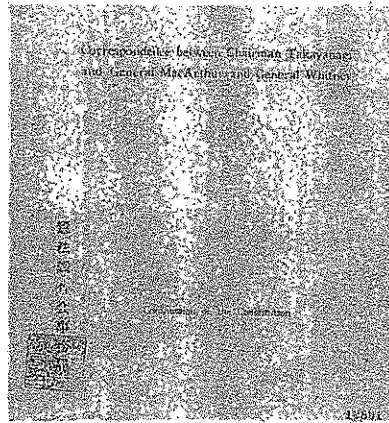
堀尾氏は「今回の新史料を、こうした発言とも重ねあわせると、9条が幣原の発意であ

ったことはいっそう確信が持てると思えます。幣原が、こうした提案をした社会的背景に何があるのか。堀尾氏は平和思想、国内外の反戦の流れを指摘しま

省、反戦と平和への希望が持てると思えます。幣原が、こうした提案をした社会的背景に何があるのか。堀尾氏は平和思想、国内外の反戦の流れを指摘しま

省、反戦と平和への希望が持てると思えます。幣原が、こうした提案をした社会的背景に何があるのか。堀尾氏は平和思想、国内外の反戦の流れを指摘しま

反戦平和のうねり結実



憲法柳高とマッカーサー調査会長との書簡を収載した憲法調査会の史料

「日本にはもともと求の大きなうねりが先中江兆民、田中正造、内村鑑三らの平和思想があり、戦争中は治安維持法で抑圧されてい

「9条は日本国民が求めてきたものである。だからこそ国民は機にあるいまこそ9条の理念を世界に広げ、改憲を許してきません。同時に、憲法の制定過程からも占領軍の押し付けではなく、日本側の提案を受

憲法制定過程をめぐる主な流れ

- 1946年 1月24日 幣原首相とマッカーサーGHQ司令官が会談
- 2月13日 GHQ草案を日本側に提示
- 3月6日 日本政府案を発表
- 6月20日 帝国議会に提出
- 10月7日 成立
- 11月3日 日本国憲法が公布
- 47年 5月3日 憲法が施行
- 51年 5月5日 マッカーサーが9条は幣原の発案と米上院で証言
- 58年 12月 高柳憲法調査会長が渡米、マッカーサーと書簡を交わす